



災害が発生したことにより電気や水道が止まってしまい、家庭や避難所で水洗トイレ使用できなくなる可能性があります。使用できないことにより、生活や健康に深刻な影響を及ぼすことや衛生環境の悪化が懸念されているため、災害時でも困らないように、下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座やテントを設け、災害時において迅速にトイレ機能を確保するものがマンホールトイレです。

災害時に使えるマンホールトイレとは



いざ災害が起こったときは、中学生をはじめとした若者たちの力が必要になります。今回作ることで、将来どこにいてもつくることができるようになるでしょう。

首都直下型地震が起こる確率は、この先40年以内に70%と言われています。災害が起こらないことが一番ですが、もしもの時は率先して避難所作りのお手伝いをして欲しいと願っています。周りにいる人のために…そして、自分のために…



流下式は、下流側の下水道管や処理場が被災していない場合に使感覚で使用でき、し尿を下水道管に流下させができるため、衛生的に使用できます。

貯留式は、流下式と同様に、し尿を下水道管に流下させができるため、衛生的に使用できます。また、マンホールに貯留弁を設け排水管を貯留槽とした構造であるため、放流先の下水道施設が被災していたとしても一定期間使用することができます。

